



CSR重点テーマ

## 健康・快適

高齢化社会の到来、余暇時間の増大などにより、人々の健康・快適への関心がますます高まっています。さらに、価値観やライフスタイルの変化により、そのニーズは高度化、多様化しています。

野村不動産グループは、スポーツを通じた健康増進、シニア住宅の開発、さらにユニバーサルデザインの推進やコミュニティへの参画を促す仕組みづくりなど、人々の健康で快適な生活の実現に取り組んでいます。

健康・快適を実現するデザインの推進 .....	48
高齢化と多様性への対応 .....	49

CSR | 健康・快適

## 健康・快適を実現するデザインの推進

デザイン性と品質を両立した住宅・ビルの提供

### ■ プラウドスマートデザイン「～ SMART & GROWING ～」

野村不動産は、プラウドスマートデザイン「～ SMART & GROWING ～」を策定しています。「SMART」（先進技術の導入や自然との共生などによる環境負荷低減に関するビジョン）と、「GROWING」（住まいの快適性と安全性、持続可能性に関するビジョン）の2つのコンセプトの下、「プラウド」の開発を進めています。

☐ プラウドスマート&グローイング

### ■ 「2016年度グッドデザイン賞」受賞

当社グループは、財団法人日本デザイン振興会主催の「グッドデザイン賞」を15年連続で受賞しました。2016年度の実賞件数は3件でした。

#### 受賞プロジェクト

- ・ 『イゴコチBOOK』（地域・コミュニティづくり／社会貢献活動）※ベスト100選出
- ・ 『桜上水ガーデンズ』（住宅・住空間）
- ・ 『サイホン排水システム』（住宅設備）

☐ 2016年度グッドデザイン賞 受賞



団地建替えのモデルとして評価を受けた『桜上水ガーデンズ』

### ■ 「デザインレビュー」の開催

野村不動産は、分譲住宅のデザイン性と品質の向上を目指し、毎年優れた物件を表彰する社内コンテスト「デザインレビュー」を開催しています。

外部の建築家を審査員として招き、建築設計担当の社員のプレゼンテーションをもとに、外観デザイン、コミュニティ形成や環境問題への対応など、さまざまな視点から評価、表彰を行います。互いにデザインや技術を切磋琢磨することで、顧客満足の向上に努めています。



『プラウド白金台』

CSR | 健康・快適

## 高齢化と多様性への対応

### ユニバーサルデザインの推進

#### ■ バリアフリー&クオリティ オブ ライフガイドブック

野村不動産は、明治大学大学院 園田研究室との産学協同研究により『バリアフリー&クオリティ オブ ライフガイドブック』を作成しました。

当社が2000年より開始したオーダーメイドマンション事業の事例の中から、高齢者や車いす利用者、視覚・聴覚障がい者の方に対応したプランを検証し、「空間構成の6タイプ」「22種の設計ポイント」など、設計上のポイントをまとめたものです。ケアの必要な方はもちろん、サポートするご家族にとっても、快適な住空間であることに配慮しています。



オーダーメイド事例

#### ■ ユニバーサルデザインガイドブック

野村不動産は、さまざまな世代やライフスタイルの方が快適に毎日を過ごすことができるよう、設計上の配慮を行っています。こうしたポイントを、『プラウドユニバーサルデザインガイドブック』としてまとめ、このガイドブックを指針としたユニバーサルデザインを推進しています。

#### ■ 外国人居住者に向けた「入居のしおり」を発行

野村不動産パートナーズは、増加傾向にある外国人居住者に向けて、英語・中国語・韓国語による、マンション居住に当たってのマナーやルールなどを記載した手引書を発行しています。



中国語版



韓国語版

## 高齢化と健康寿命の増進

### 「スマートウェルネスタウン（船橋モデル）構想」が国土交通省「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」に選定

野村不動産と野村不動産ウェルネスが推進する「スマートウェルネスタウン（船橋モデル）構想～健康増進とコミュニティ醸成をコンセプトとするサービス付き高齢者向け住宅を街の機能に組み込んだ一体的な地域包括ケアシステム～」は、国土交通省「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」に選定されました。

この制度は、「高齢者、障害者又は子育て世帯の居住の安定確保及び健康の維持・増進に資する事業」の提案を国土交通省が公募し、事業の実施に要する費用の一部を補助するものです。

#### 「スマートウェルネスタウン（船橋モデル）構想」概要

- ・「ふなばし森のシティ」内に、サービス付き高齢者向け住宅（126戸）として、「オウカス船橋」を建設
- ・ICTと専門家による健康状態のチェックや専門家によるスポーツ指導、医療サービスの提供により健康寿命を増進
- ・入居者だけでなく、地域住民にもサービスを提供し、地域全体の健康増進と介護予防意識の向上を図る。

☐ オウカス船橋

#### デュアルタスクトレーニングを筑波大学と共同研究

野村不動産ライフ&スポーツは、筑波大学山田実准教授監修の下、転倒の原因となるサルコペニア（加齢に伴う筋力の低下）を改善するトレーニングや、認知症予防のためのデュアルタスクトレーニング（二つのことを同時に行う運動）を提供しています。

「倶楽部100<sup>®</sup>」会員の協力を得てトレーニング前後の身体機能の測定、および結果の分析を行い、運動プログラムの開発に活かしています。

#### 地域の高齢者への運動支援

野村不動産ライフ&スポーツは、自治体からの委託を受け、「65歳以上の生活機能低下のリスクのある方」を対象に、運動教室を提供しています。地域の自主サークルへの出張指導や体力測定会の開催など、地域の高齢者への運動支援を行っています。



運動教室

#### 「認知症サポーター」資格の取得促進

野村不動産ライフ&スポーツは、地域に暮らす認知症の方やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」資格の取得を促進しており、2016年度までに累計207名が取得しています。「認知症サポーター」の養成は、厚生労働省が策定する「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の一環として行われるものです。

## 「しながわCSR推進協議会」へ入会

野村不動産アーバンネットは、2017年4月「しながわCSR推進協議会」に入会し、品川区において不動産会社では初となる「民間企業と連携した高齢者等地域見守りネットワーク事業」に関する協定を締結しました。

「民間企業と連携した高齢者等地域見守りネットワーク事業」に関する協定とは、民間企業が通常業務の中で高齢者宅の異変（「新聞や郵便物がたまっている」「TVの音がするのに応答がない」など）を察知した場合、品川区に通報することを取り決めたものです。



品川区役所において協定締結